

なかしべつ

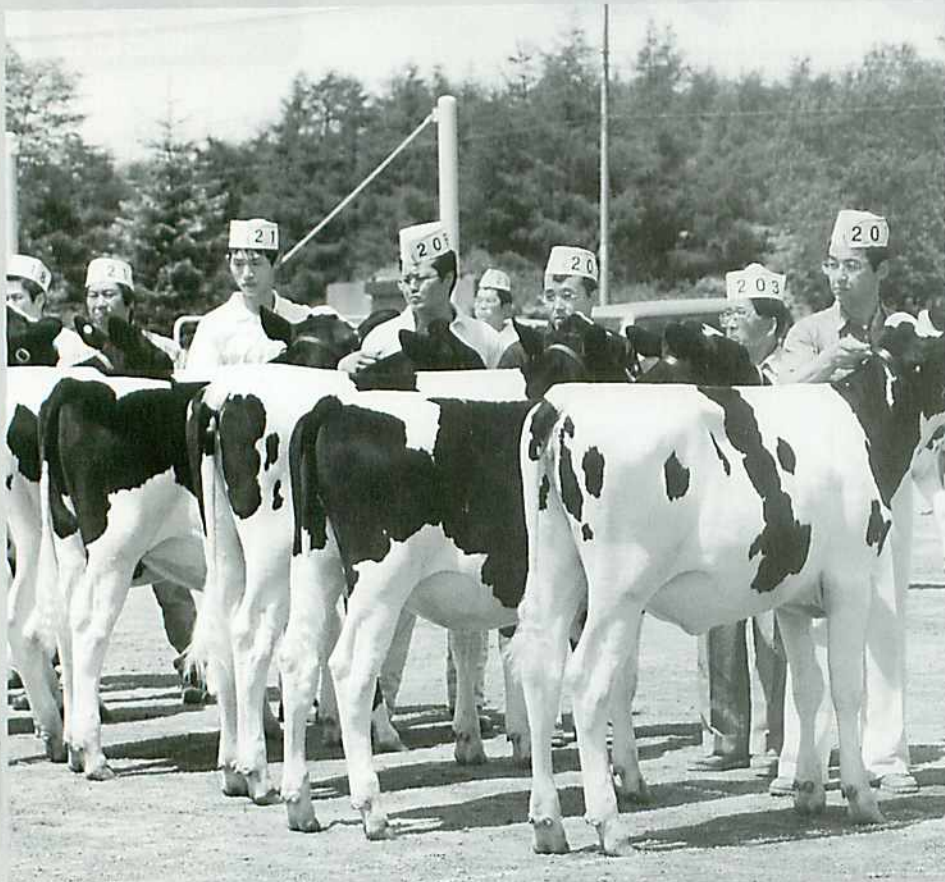
1998
7月
No.283

竹村 聡氏出陳のカーネーション トレード スターダム号が
グランドチャンピオンに決まる



第29回 中標津町農協ホルスタイン共進会チャンピオン牛と共に

種馬、ホルスタインの 優美をきこう。



平成十年度、第二十九回中標津町農協ホルスタイン共進会並びに第十回種馬共進会が六月十二日、ホクレン根室地区家畜市場にて開催されました。

第29回 中標津町農協 ホルスタイン共進会

依橋地区3年連続優勝

当日は好天にも恵まれ、百十七頭の出陳となり、質の高い中標津ホルスタインをアピールしました。

審査員には、府県などでも審査活躍中の川本正一郎氏（全国乳牛改良協議会代表監事・鳥取県）があたりました。



また、デーリィクイーンには、野田礼子さん（農協家畜改良課）、泉綾さん（農協管理電算課）があたりシヨウに花を添えました。

なお、審査の結果、グランドチャンピオン並びにベストアダージェンピオンに竹村聡さん出陳のカーネーション トレード スターダム号が、ジュニアチャンピオンに川村尊之さん出陳のリバービレッジ チャールズ ホープ マーク号がそれぞれ榮譽に輝きました。

地区別団体賞は以下の通りとなりました。一位、依橋地区（二百七十二点）、二位、第二俣落地区（二百五十五点）、三位、武佐地区（二百七点）、四位、中標津地区（百九十二点）、五位、俣落地区（百八十六点）、六位、開陽地区（百一十一点）、七位、当幌地区（六十四点）の順位となりました。



最高位には「藤」号が輝きました



審査する笹田氏



審査員の川本氏

好評だった 和牛展示説明会

今回初めての試みとしてJJA中標津総合共進会会場において、肉牛振興会による和牛の普及と理解を得るために展示説明会を開催しました。

講師には新生飼料千歳営業所岩井所長に依頼、特に新生飼料には毎月中標津生産和牛を購入されている会社でもあり、購買者が求める素牛、求められる育成技術などを五カ月、九カ月の雄雌十頭を展示し、一頭毎に系統による特徴、育成技術による差、今後の飼養管理など、具体的に普段比較しながらの講評は聞けず、参加者は会員はもとより和牛に興味を持つ人達が大勢参集し、短い時間であったが好評のうちに終了し、来年に向け懸念されました。

第10回 種馬共進会

また、種馬共進会は二十七頭の出品数があり、審査は笹田文章氏（根室生産連）により、第一部の一般馬（二才クラスから第五部ポニー種まで）行なわれた後、各部一等賞入賞馬の中から最高位が決定され、今年の最



高位には、一般馬二才クラスの「藤」号（所有者・亀田英二氏）が栄誉を受けました。

各部一等入賞馬

第一部（一般馬二才）

名号・鹿宝 出品者・橋本政昭

第二部（一般馬三才）

名号・藤 出品者・亀田英二

第三部（一般馬四才）

名号・ラッキーホマレ

出品者・延寿武好

第四部（和種馬）

名号・信姫 出品者・藤田誠一

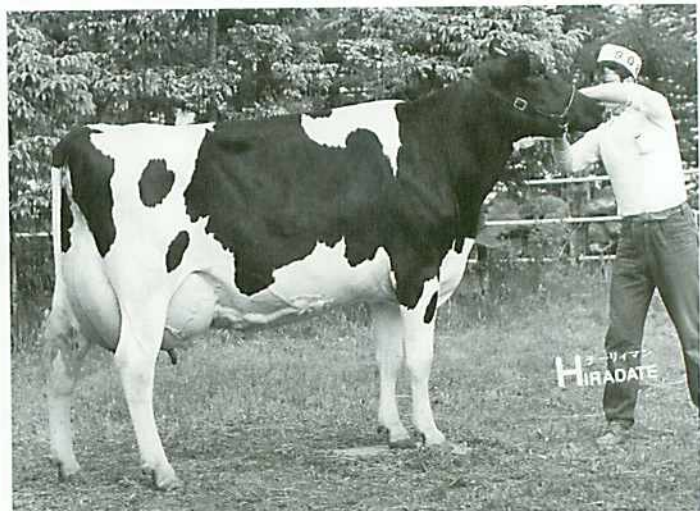
第五部（ポニー）

名号・リグリア出品者・伊藤正幸

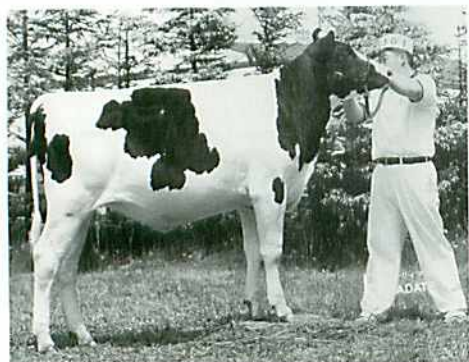
第29回 中標津町農協ホルスタイン共進会 チャンピオン牛及び1等1席入賞牛



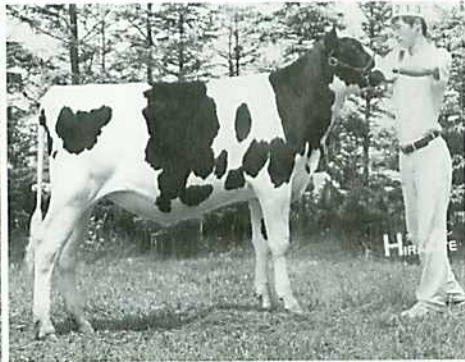
ジュニアチャンピオン 第5部 川村 尊之
リバーレッジ チャールズ ホープ マーク



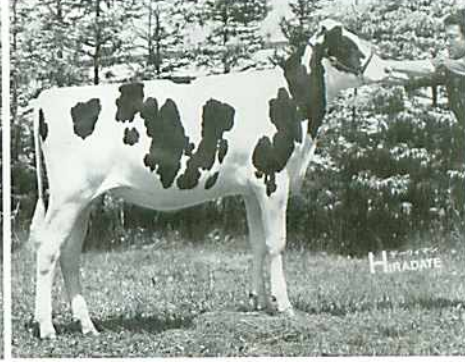
グランドチャンピオン 第9部 竹村 聡
ベストアダーチャンピオン
カーネーション トレード スターダム



第3部 佐藤 洋之
プリンセス マークス ミラン



第2部 久保 剛
エクセルシア ダーミネイト



第1部 久保 剛
エクセルシア シヤネル



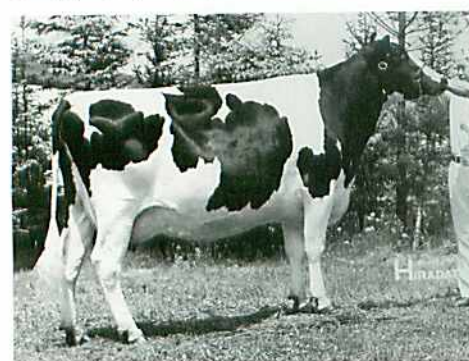
第7部 佐々木尚洋
アースイースト イーグル ブローカー



第6部 福嶋 信一
ハッピーランド ゴールド トリプルマリー



第4部 佐々木昭雄
アースイースト アスターネット ゴールド



第11部 弾正原 正
サニーデール ローヤル マーサー



第10部 佐々木昭雄
ミリーチェアマン タイム



第8部 弾正原 正
サニーデール ジェッド スター

畜農技術

TMRミキサーは水分の変化に要注意

北根室地区農業改良普及センター

図1 サイレージ水分75% (当初設計)

| | 原物重 | 乾物重 |
|-------|-----|-------------------------------|
| サイレージ | 40 | $40 \times (100-75)\% = 10.0$ |
| 配合等 | 11 | $11 \times 87\% = 9.6$ |
| 合計 | 51 | 19.6 |

粗飼料の割合 = $10 / 19.6 = 0.51$

飼料給与の効率化のためにTMRミキサーが地域でも普及しています。しかし、ミキサーの「正確に計れる」という利点が、使い方によっては不測の状況を生じます。その原因は「サイレージの水分変化への対応」です。配合飼料などの乾物率は八七〇八八割と毎日の計量時でも安定しています。しかしサイレージは飼料設計時の水分が、その後十〜十五割前後で変動することは日常的にあり得ます。図一（サイレージの水分七五割の当初の飼料設計）。牛群がTMRを残さない程度に、サイレージ原物四十割（乾物十割）配合などを原物十一割（乾物九・六割）に設計されています。粗飼料の割合は五割です。

図2 サイレージ水分75が80%に変化

| | 原物重 | 乾物重 |
|-------|-----|------------------------------|
| サイレージ | 40 | $40 \times (100-80)\% = 8.0$ |
| 配合等 | 11 | $11 \times 87\% = 9.6$ |
| 合計 | 51 | 17.6 |

粗飼料の割合 = $8 / 17.6 = 0.45$

五割から八〇割に変化していた。飼料混合時に、この変化に気付かないで一頭当たり原物四十割で計量し、給与するとサイレージは乾物で八割しか給与されません。ミキサーの総重量は何んの変化もないが、乾物量は二割／頭低下し、粗飼料の割合は四五割にダウンし「乾物不足」の状態になります。これに対する危険な対応は、TMRが不足する状況を解消するために図二の設計のままで、例えば八十頭の牛群に九十頭分のTMRを長期間給与することです。穀類多給が継続されてしまいます。図三（サイレージの水分が当初の七五割から七〇割に変化していた）。前述と逆の場合ですが、ここでもミキサーの総重量に変化はありません。但し、当初の設計より乾物量が

図3 サイレージ水分75が70%に変化

| | 原物重 | 乾物重 |
|-------|-----|-------------------------------|
| サイレージ | 40 | $40 \times (100-70)\% = 12.0$ |
| 配合等 | 11 | $11 \times 87\% = 9.6$ |
| 合計 | 51 | 21.6 |

粗飼料の割合 = $12 / 21.6 = 0.56$

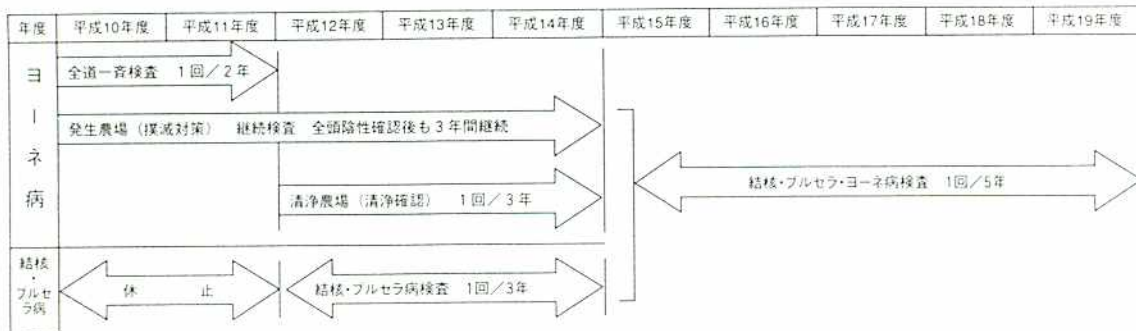
多いため「TMRが残る」事態となり、栄養摂取不足の原因となります。このようなサイレージの水分変化に対応するためには、次の事が重要となります。①サイレージの水分変化を「手」でチェックする。②TMRの残飼量をチェックする。③サイレージを取り出す「ガサ・容積」も水分変化を補うために活用する。この上で「短期的」には、TMR不足の時はサイレージを増量し、TMRが残る時はサイレージを減量する。④最終的には、サイレージの水分だけでなく定期的計ることが重要です。水分だけでなく普及センターで計測できます。

牛のヨーネ病検査が開始されました。

家畜伝染病予防法が改正され、牛については、ヨーネ病が、結核病、ブルセラ病と同様に撲滅すべき疾病に加えられ、五年に一回以上の検査をすることになりました。

平成十一年度の二年間は、結核病、ブルセラ病検査を休止し、ヨーネ病に限りて全道一斉検査を実施し、清浄農場と発生農場を明らかにして、発生農場については重点的に防疫対策を行ない、清浄化（最終発生から三年間発生がないもの）を進めることとしています。検査は、乳用牛及び肉用牛のうち、二十四カ月齢以上の繁殖雌牛と種雄牛を対象に実施します。平成十二～十四年度は、清浄農場について清浄度確認検査を、ブルセラ病検査に併せて実施する予定になっています。平成十年及び十一年のヨーネ病検査実施地域は次のとおりです。

- 【平成十年度】
- 根室市 厚床地区（四月～六月）
 - 別海町 中春別地区（五月～六月）
 - 上春別地区（九月～十月）
 - 別海地区（十月～十一月）
 - 中西別地区（十一月～十二月）
 - 計根別地区（十月～十一月）
- 【平成十一年度】
- 根室市 半島地区
 - 別海町 上風連地区
 - 西春別地区
 - 本別・大成地区



家畜の生産段階における衛生対策を徹底しましょう

中標津町 開陽・武佐地区
 標津町 全 域
 羅臼町 全 域

最近「From Farm to Table」という言葉を良く耳にするようになってきました。これは、食品の安全性を確保するためには、原材料の生産段階から製造段階を経て消費者が口にするまで、一連の衛生対策が必要であるという意味でクリントン大統領がラジオ演説で用いた言葉だそうです。国内においても腸管出血性大腸菌O-157による食中毒の集団発生から、食の安全性に対する消費者の関心は一層高まり、生産段階の衛生についてまで注目されています。

- 家畜の生産段階は自然環境に近く、畜と糞尿が同居しているなど数多くの環境特性が存在し、生産者の方も日夜悩まれていることと思います。食の安全性を確保し、さらに、畜産食品のイメージアップをはかるために次の衛生対策に努めてください。
- 畜舎の定期的な消毒（清掃↓洗浄↓消毒↓乾燥）と糞尿の排除を徹底し、家畜の体表及び畜舎、餌槽、水槽を常に清潔に保つ。
 - 糞便については堆肥化を適切に行なうとともに堆肥場の整備に努め衛生的環境の維持をはかる。
 - 野生動物、ネズミ、衛生害虫（蠅など）の除去に努める。
 - 踏み込み消毒槽を出入口に設置し、関係

- 者以外の畜舎への立入りを制限する。
- 飼料（配合やサイレージ）の汚染防止のため保管場所などには注意する。
- 家畜の健康管理に留意し、異常家畜の早期発見と早期治療に努める。
- 出荷家畜については、体表に付着している糞便を入念に洗浄して出荷する。
- 家畜の運搬車両の消毒を徹底して行なう。
- 作業の前後は手・指の洗いと長靴の消毒を励行する。

種馬鈴しよ 防疫検査の日程

平成十年度、種馬鈴しよ防疫検査が、次の通り実施されますので、ほ場の環境整備並びに病株いもの抜き取りなど、健全無病馬鈴しよの生産確保にご協力願います。

- 第一期 七月十三日(月)
根室支庁・河口技師
- 第二期 七月二十三日(木)
植物防疫所札幌支所
笹井防疫官
大平防疫官
- 第三期 七月三十一日(金)
植物防疫所札幌支所
馬場防疫官

畑作各組織を結集し、畑作課題解決に向けての取り組みがスタート。

平成十年六月三日(水)、中標津町農協大会議室において、畑作生産者二十一人の出席のもと、中標津町農協畑作対策協議会設立総会が開催されました。



設立に当り、松田征二設立準備会代表の設立経過説明と今後の取り組みについて、畑作各組織が結集し、畑作の課題解決に向けて取り組み、続いて、中標津町農協高橋副組合長、中標津町小林農林課長、北根室地区農業改良普及センター井芹所長各氏から祝辞と激励の挨拶をいただきました。

議長に西中の小林茂氏を選出し議事に入り、設立主旨及び構成組織、基本活動方針(案)について、出席者の賛同を得、承認されました。

また、平成十年度の事業計画として

- 一、畑作経営の課題協議
- 二、関係機関との協議対策
- 三、要請活動
- 四、組織編成と活動内容の検討学習会
- 五、畑作協議会運営経費負担の検



討

以上、事業計画を満場一致で承認し、次回協議会第一回役員会において、農協役員も加わった中で三役の選出を行なう事を確認し、設立総会を終了しました。

共計でん粉
5月末
販売情報

平成九年産共計でん粉の販売状況は、五月末仮配分累計一袋当り千百円(前年同期九百五十三円)と前年より百四十七円、単価による進捗率は前年比百十五・四割と前年同期を上廻っております。

また、産地倉渡し二千二百五十円(三千二百二十五円)(前年二千五百七十五円)三千二百二十五円、東京倉渡し二千四百五十円(三千四百五十円)(前年二千七百七十五円)三千四百五十円)となっております。

なお、馬鈴しょでん粉と競合するコーンスターチは、千九百円で前年同額となっております。

※EUの馬鈴しょでん粉や、誘動体の日本国内への販売攻勢は激しく行なわれています。

海外研修の報告書「新農業法下の米國酪農」から抜粋。

一番草の収穫時期になりました。

牧草の成育は例年に比べ一週間程度早く進んでいるようです。

収穫期の天候にも恵まれて順調なスタートをしています。

忙しい作業がしばらく続きますが、事故に注意され、体調にも充分配慮されて、この時期を乗り切ってください。

昨年の秋に私も参加しました中酪の海外研修の報告書がまいました。題して、「新農業法下の米國酪農」でA五判の二百三十四ページになる報告書というより一冊の本というべきものに仕上がりました。農協に備えてありますので、興味のある方はぜひ一読されて下さい。

詳しくは本文にゆずりますが、研修参加者の所感編がありますので、印象に残った、各々のコメントを載せてみました。

○私たちが訪ねた酪農家は、家族経営でスタンション方式、搾乳牛百頭規模だったが、「カルフォルニアもウイスコンシンも一人当りの頭数規模は余り差がない、マイペースでやるのみ」と悠然と語っていた。

彼の話を聞きながら私は日本には日本の、北海道には北海道のそれぞれの牧場には、それぞれの考え、生き方もあることを強く感じた。

○米國においては次期ラウンドを

今月のたより

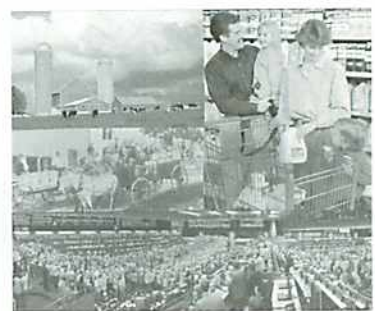
組合長日誌

代表理事組合長
もりゆき 三友 盛行

にらみ、96農業法により酪農政策は基本的には規制緩和、簡素化の方向を目指し、生産者はWTO体制の生き残り戦略として、乳製品の国際競争力を一層厳しく認識し、攻撃（加工向）と防衛（飲用向）の組合わせによって、その影響を緩和し、この

1997 新農業法下の米國酪農

第28回海外酪農現地実習研修会報告書
THE 28TH JDC STUDY DELEGATION
Oct. 4 to 18 1997



ため連邦ミルクマーケティングオーダーの大手な合併により強化する。

○優秀牧場主は「一人で管理できる乳牛は約五十頭だ」。

○出発前までの米國の印象は巨大で何にでも口を出す、おせっかいでわがままな国であった。乳製品の買上げ制度の廃止を生産者側より提案したことには驚かされる。飲用価格の支持が前提であると思うが、この発想は日本にはないもので、米國酪農民のヤル気と、したたかさを同時に見た思いである。研修後の米國の印象は出発前の印象に加え、空恐ろしい国が付け足された。

○支店価格がなくなると価格のアップダウンが繰り返され、小さな農家が脱落し、残る農家が良くなる。

一人がマネージメントできる頭数は五十頭で、百頭なら二人、千頭なら二十人かかり経営効率は同じである。

○コーネル大学での近年の乳量増加の要因として、牛に対する栄養の理解が深まったこと、牛舎の改善（換

気 et c）が進み、病気にかからないうこと、優れた管理能力のある人により、多くの頭数が優れた管理をされていること、個体能力の向上はそれほど貢献していない。

○彼らは米國酪農の現況及び将来に強い自信を持ち、経済法則に沿った政策推進にあつていこと、東部地帯の大量廃業状態に対しても、限界生産地以下での経営は自然淘汰が当然であり、これに伴って発生するだろう社会構造変化にさえ、予想外に無関心である。

○彼らはEUは問題視していなく、またオセアニアも草地酪農が中心で、供給量に一定程度限界があるなかで、今後米國が世界をリードしていくと見ており、個人的にもそう実感せざるを得なかった。

○酪農家も今や國の補助金をあてにしておらず、施しをうけることを恥るべきであるといっていたが経営は苦しそうであった。

○やはりというべきか、想像以上にうべきかアメリカは大きかった。ミシガン湖はまるで海のようにだ。

○コーラの紙コップも大きすぎた。○強烈な自負を持ち、自己主張を展開していた。

○今後の状況をリングゴの木に例えり、リングゴの木を揺すって落ち、残るものは残り、大きくなっていく。構造変化の進行を敏感に受け止め生産者、組合など自らの力によって、大きな波を越えていこうという自信が見受けられた。

納得、反論などあるかも知れませんが、今後の参考にして下さい。

中標津農業高校・兵庫県立氷上高校 実習生受け入れ式。

六月九日から十八日までの十日間、平成十年度の委託実習の先陣を切って中標津農業高校の生徒二十人（男子十人、女子十人）、六月三十日から七月八日までの十日間、兵庫県立氷上高校の生徒二十八人（男子二十四人、女子四人）、両校生徒が実習を通して学校教育では得られない自立心の養成、農業経営や技術の養成、農家生活の習得などを目的として十日間の実習を無事終えました。



中標津農業高校の受け入れ式



氷上高校の受け入れ式

今年の牧草収量はどのくらい？



1番草の収量調査

農業白色標準課税の算定基礎となる一番草の収量調査が、六月二十三日根室税務署、町税務課、普及センター、北農中央会、農協税対委員会が立ち会いのもので行なわれました。調査した日は好天に恵まれ、牧草収穫作業を開始した人も多く見られました。

今年の十三圃場の一番草の平均収量は、十アール当り千八百三十三鈴（昨年六月二十七日調査で千六百八鈴）で、昨年比百一四割となりました。

この収量調査は、二番草も行ない、根室管内の平均値により、飼料畑標準の算出基礎となります。

ご存知ですか
パークゴルフ
のマナー

技術より
マナーが大切
中標津町農協熟年会



パークゴルフは、年齢や男女の差、経験の有無などに違いがあっても、ゲームの結果はさほど変わりません。

競技性を志向するよりも「コミニケーション志向」の部分が強いからです。みんなが楽しめるようにと考えた結果、技術よりもマナーやエチケットを優先したゲームとなりました。

ほかの人が打つ姿勢に入ったときは、静かにしていると、カッブの前に立ったり、横切ったりしないとか、コース周辺の樹木や芝生（ハイヒールや皮靴、長靴などで芝生を踏まない）を大切にしたり、ゴミやタバコの吸殻を捨てたりせず、きれいな環境でゲームを楽しみましょう。

わが家の 人気者

元氣いっぱいにお出迎えしてくれ
たのは、笠井家の長男翔太くん一歳
八カ月。

突然おじやました私に、おもちゃ
の車にのって、照れくさそうにあい
さつしてくれました。翔太くんはと
にかく元氣いっぱい。お母さんの友
子さんも「この間、地区の運動会に
連れていった時も、一人でどんどん
歩いていっちゃって、本当にこわい

者知らずなの」と笑います。

そんなやんちゃ盛りの翔太くんは、
最近、でんぐり返りができるようにな
ったとか。何度もやってくれて、
とっても上手。そして、翔太くんお
気入りのアンパンマンのプラランコ
とミツキーのすべり台で、いつも楽し
く遊んでいるようです。そして、少
しずつ、おしゃべりも上手になっ
てきた翔太くんは、窓の外にお父さん

の姿を見つけるとごきげんで、お父
さんについてトラクターに乗ると大
はりきり。トラクターに乗ってお父
さんのまねをしているところがとっ
てもカワイイ。お父さんの一路さん
は「お父さんのオレよりトラクター
が好きなのかな」と笑っていました。
とっても元氣な翔太くん、これから
もすこやかに大きくなあれ。

開陽地区 笠井一路・友子さんご夫妻 長男 翔太くん(1歳8カ月)

ぼくは、
トラクター乗るのだ！

女性部の今月の活動を紹介します。

えりもの風、 風速25m/sを体験

女性部宿泊旅行



リースからは、ほのかにハーブの香りがします

六月三日(水)に、フレッシュシュミセスで環境整備について学ぶため、清里町の農家などを視察致しました。
当日の参加者は二十二人とフレッシュとして、今までになく沢山の参加者でした。一行は午前九時すぎに農協を出発。清里町農業改良普及センターを訪問、村上主査より清里地区での環境整備についてのフレッシュミセスの取り組みをお話しして頂きました。廃材を利用して作った手作り看板や休耕期を有効利用した手

すてきなフラワーリースで・きた。た。
・フレッシュミセス日帰り旅行

作りオーバオールなど、どれもフレッシュが中心となり行なっている活動との事で、参加者の皆さんも作り方など熱心に聞いていました。
午後には斜里町に向かい、ドライフラワーを使ったフラワーリース作りをしました。それぞれ自分の気に入った花をまとめ小さなコサージュを作り、素敵なリースが完成。皆さん真剣に取り組んでいました。
これからもどんどん体験型の旅行を計画していきたいと考えています。

六月十六、十七日に女性部で一泊二日の宿泊旅行として、浦河優駿ビレッジAERU(あえる)へ行きました。参加者二十人、農協前から元気に出発。途中、日高山脈を貫ぬく、天馬街道を通り、眼下に見える溪谷の景色は絶景でした。
AERUに到着してからは各自自由に公園内を散策していました。この日は、浦河ウエリントンホテルへ宿泊。夜は会食、カラオケ大会などで盛り上がりつつありました。二日目は、えりも岬風の館、忠類村ナウマン象記念館へ行きました。風の館ではえりもの強風を体験できるコーナーがあり、風速二十五m/sを体験しました。帰りのバスの中も、疲れもみせずにおしゃべりに花を咲かせ、繁忙期前のひとときを楽しみました。

今年もきれいに咲きそろいました。



プランターに植えたマリーゴールドもきれいです

女性部フラワーパネル

今年も農協事務所の正面玄関前に、フラワーパネルがお目見えしました。赤と白のペコニアがとっても綺麗に咲きそろっています。

これは農協の助成を頂き、女性部の部員数人の方が休日を返上し、整備して下さいました。また、Aコープ駐車場にあるオンコの木の下にも、黄色とオレンジ色のマリーゴールドが植えられました。農協にこられる方の目を楽しませてくれる事でしょう。

より多くの部員の参加を求め。

農水省、全農中央会実務担当者との意見交換会

青年部書記 佐々木大輔



去る6月18日、別海町郊楽苑にて農水省及び全農中央会の実務担当者との意見交換会が、管内農青協により行なわれました。

当青年部からは、管内の副会長である山田昇君と私の2人が参加しました。この交換会は例年6月下旬に行なわれていたのですが、1番草の収穫と重なるため、少しでも早いこの時期に設定されました。

意見交換の内容としては、酪農青年の考え方や将来展望、または実務者の農水省や中央会での経験や仕事の内容にもとづいた話し、そして酪農実習の感想など、ざっくばらんに話し合われました。

このような意見交換会の機会は数少ないと思いますので、より多くの部員が参加してくれれば良いのではないかと思います。

これは、はじめの二歩です。

青年部環境整備事業 青年部武佐支部 中司 拓也



タイヤショベルを使つての作業

青年部武佐支部では、六月十一日に環境整備事業として廃ビニールの回収を行いました。当日は部員八人とダンブ三台で、七軒をまわりました。
いざ作業開始、二班に別れて各農家へ移動、積み込みをしました。きちんと肥料バックに積めて整理されているものから、ラップサイレージのビニールがそのまま放置されていたり(中から雪が発見された!?)、すき間にたまっていた水がかかったりと、大変なものでありました。
昼前には終わるだろうと思っていた作業も、意外に思うようにならなく、苦戦し、最後にはウンボやタイヤショベルで積み込むという荒ワザで無事終了し、埋め立て場へ運びました。計六台の廃物でしたが、作業を終えて



6.8 次々と運の込まれる廃物

- ビニール類は、こまめに整理しておく
- できれば肥料バックに積めておく(後が楽になる)
- ためすぎない様にしておく
- あまり端におかない
- など今後の教訓と致します。

安全運転を 呼びかけました!

交通安全&ミルクキャンペーン

青年部消費拡大委員会
委員長 中塚 広文



真剣に安全運転を呼びかける部員

交通安全の呼びかけを6月5日、午前11時より、国道272号の自動車整備組合前において行なわれました。

この企画は、今年に入り中標津管内の交通事故が多発しており、青年部としても何か役に立てることがないか話し合い、交通安全協会と警察署の協力を得て行なわれました。

当日は天候に恵まれ絶好のキャンペーン日よりとなり、消費拡大委員会と三役で協力し合い、消費委員長自ら牛の着ぐるみを着て頑張り、車一台、一台に交通安全のパンフレットと新鮮なコーヒーマル(200個)をドライバーに手渡し、「シートベルトの着用・スピードダウン」を呼びかけ、ミルクの消費拡大をPRしました。皆さん、交通安全を心がけましょう。



着ぐるみの中は熱いけど
ガンバルゾー!



大物が釣れたよ

依橋青年部では、六月五日に養老牛の釣り堀にて家族親睦会を行いました。当日は、あいにくの曇り空でしたが、会員・家族合せて十三人の参加で大物をねらって皆さん、はりきっていました。釣りの後は、昼食をとり和気あいあいの中、楽しい一日を過ごしました。今後も家族親睦会を続けてゆきたいと思っておりますので、多くの皆さんの参加をお願いします。

依橋青年部家族親睦会 青年部依橋支部 福嶋 寿顕

和気あいあい。大物ねらいでハッスル。

武佐岳山開き 大勢の登山者でにぎわう。

青年部武佐支部 藤原 智樹



登山道入口での登山者

毎年開催されている武佐岳登山が、六月十四日に行なわれました。当日はあいにくの曇り空で少し肌寒いにもかかわらず、多くの登山者でにぎわいました。青年部武佐支部では、ジンギスカン、ヤキソバ、ビール、ジュースなどを販売し、今年も多くのお客様に買って頂き、正午過ぎには完売するほどの盛況ぶりでした。今後も武佐支部の伝統ある山開きを、武佐岳愛好会の方々と青年部で盛り上げて行きたいと思っております。

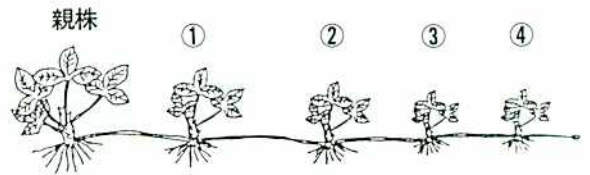
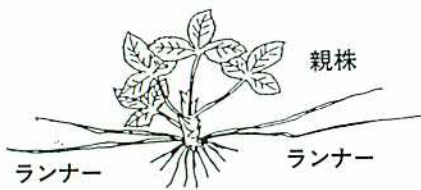
暮らしの

知恵袋

いちごのふやし方

北根室地区農業改良普及センター

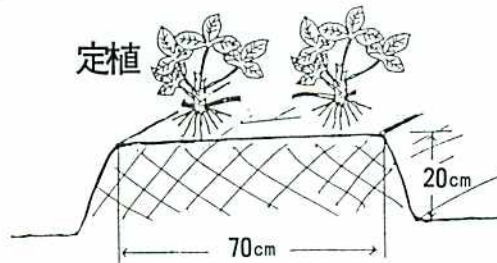
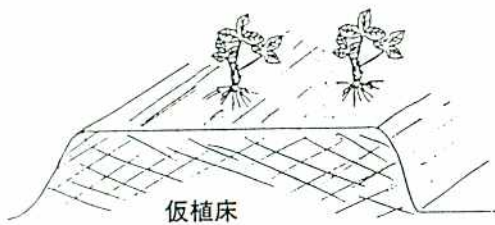
- いちごは根張りが浅く、乾燥に弱い。保水性、排水性が良く、日当りの良い畑を好む。
- 根は肥料に弱く濃度障害をおこしやすい。



- 親株を植える1週間ぐらい前に整地し、1㎡当たり苦土石灰150g、化成肥料100g程度を入れておく。
- ランナーが何本も出てくる。

- ランナーは親株側で3cmのところで切る。
- ランナーののびる側で短かく1cmぐらいに切る。
- ランナーを短かく切った側に花房が出来る。

- 本葉が3～4枚の苗を次々と仮植床に植える。
- 仮植床は親株床と同じく石灰と肥料を入れて準備しておく。
- 苗は成長の良いものから順次使用する。

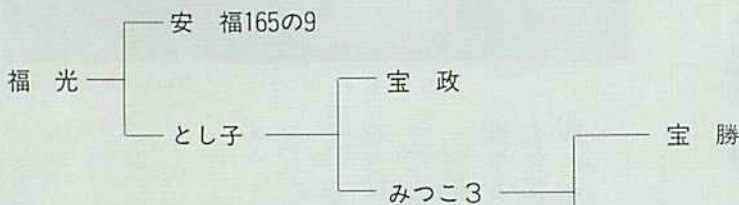


- いちごは秋の低温、短日条件により、翌年の花芽が分化するので、遅くても8月中に苗の定植を終える。

- 1㎡当たり苦土石灰100g、化成肥料100g、完熟堆肥3～5kg。
- 植付の2週間ぐらい前に準備し、肥料をなじませておく。
- ランナーを短かく切った方に花房が出来るので通路側に向くように定植する。

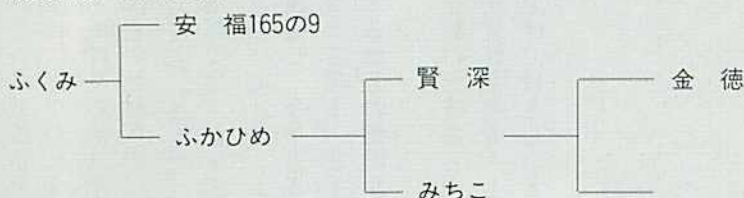
横田国雄氏

購買価格 552,000円



田中輝繁氏

購買価格 715,000円



五月に開催されたホクレン十勝市場において、雄の部で第二俣落・横田国雄さん生産の和牛が、約五百頭の中でトップセールに輝きました。

また、雌の部では武佐の田中輝繁さんの生産の和牛が、約三百頭の中でトップセール、田中さんは三月市場に続いてトップセールの受賞となりました。一度の市場において雄雌、両方のトップセールはまれな事であり、日頃の管理、努力に敬意を表します。

以下二頭の血統は次の通りです。

中標津生産和牛 トップセールに輝く(十勝市場)



新たな基本法

株式会社の農地取得は 農村に悪影響

減少する農地面積

日本の農地は昭和三十五年に約六百万ヘクタールありましたが、今では五百万ヘクタール以下まで減少しています。この間、農地の拡張があった半面、宅地や工場、道路などに転用された農地がそれを上回った結果です。しかも、年々四〜五万ヘクタールが、農地から転用されています。国内生産を基本とする食料政策、食料自給率の維持・向上を目指すならば、農地の減少は致命的といえます。農地を拡張できればいいのですが、環境の面からも難しくなっています。

日本の農地面積を一とした場合、アメリカは七七・九、ドイツは三・四、フランス五・八、イギリス三・三と諸外国と比べ、小さいことがわかります。このように、日本の生産条件は諸外国と比べても厳しいものとなっていますが、だからこそ、国民食料の安定供給のための生産基盤として、優良農地の確保と有効利用が必要となっています。

投機や農地の荒廃の恐れ

株式会社の農地の権利取得問題については、「食料・農業・農村基本問題調査会」の議論では賛否両論があります。しかし、株式会社が農地

を取得し、農村へ参入してくれば、以下のような影響が懸念されます。

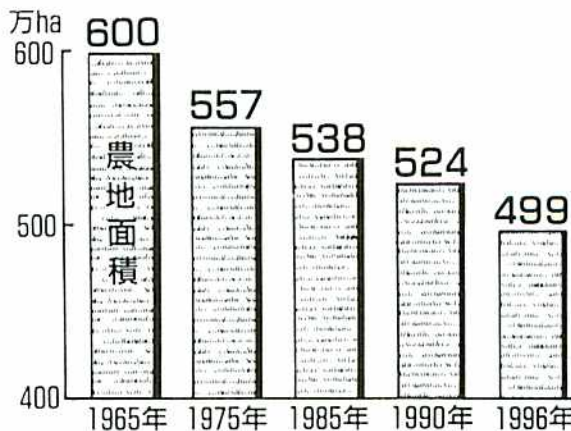
土地利用型農業では、JAと農家が話し合い「地域営農計画」などをつくり、作物や品種を決めて栽培に取り組んでいます。しかも、水稲では「水」が欠かせず、平等に水を確保できるようになっており、農村の機能やまとまりと密接に結びついているのが現状です。

こうしたなかで、株式会社が農地を取得した場合、いままでの農村の機能が働かなくなるおそれがあります。

農家の話し合いで決めた作物と違う作物が栽培される可能性があります。また、水稲の水管理は農家が当番で対応していますが、株式会社がその秩序を守る保証はありません。

利益を追求するのが、株式会社です。大型機械を駆使し、大規模に農業をするには、傾斜地より平坦な農地を選ぶでしょう。しかも、経営方針が変わったり、利益が上がらな

農地は一貫して減少している



資料：農林水産省「耕地及び作付け面積統計」

ったら農業から撤退し、農地の転用や荒廃化が起こる可能性があります。

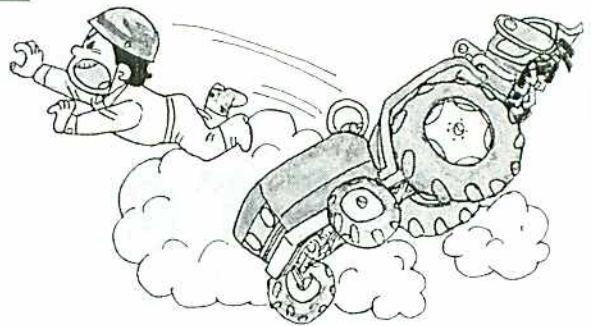
バブル期、株式会社は、投機を目的に仮登記による農地の取得や乱開発を行いました。株式会社の農地取得を認めれば、再び土地投機の対象にされかねません。

農地は、これ以上減らしてはならない大切な「食料源」です。

農作業安全メモ

農作業中の事故は本人の不幸に止まらず、農業経営さらには農家の存続にまで大きな影響を及ぼします。

次の事項に留意して悲惨な農作業事故を未然に防ぎましょう！



★トラクターの転倒・転落事故を防ごう！

- 農作業中の死亡事故のうち、トラクターによるものが約半数を占めており、このうちトラクターの転倒・転落によるものが最も多く発生しています。
- また、トラクターの転倒・転落による死亡事故の大半は安全フレーム・キャブが装着されていません。
- 転倒・転落事故から命を守るため安全フレーム・キャブを必ず装着しましょう。

★機械の巻き込まれに注意しよう！

- 近年、機械の点検・整備時に手や足を巻き込まれる事故が発生しています。
- 機械の点検・整備時はもちろん、草刈りなどの除去やPTOの手入れについても、エンジンを必ず止めてから行ないましょう。
- また、万一の事故に備え、家族や作業補助者にもエンジンの止め方を教えておきましょう。

★子供や女性を事故から守ろう！

- 子供や女性が運転者の不注意から犠牲になる事故が多発しています。
- 機械の操作は必ず周囲の安全を確認してから行ないましょう。

★労災保険に加入しよう！

- 労災保険は、雇用されている労働者の労災事故に対する事業主の補償業務を政府が肩代りする制度です。しかしながら事業主である農家の方でも
- (一) 特定農作業従事者 (二) 指定農業機械作業従事者 (三) 中小事業主 (農業事業主など) のいずれかとして特別に加入でき、被保険者(補償対象者) になれるのです。
- 農作業事故は本人だけでなく、家族にも重大な影響を与えます。万一の事故に備え労災保険に加入しましょう。
- また、安全講習会など、各種講習会に参加して知識・技能の向上を図りましょう。



3カ月予報

概況

七月から九月までの天候の見通し
 三カ月平均気温は、「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は五〇％です。

七月

低気圧と高気圧が交互に通り、
 天気は数日周期で変わりますが、
 平年同様一時冷たい高気圧の影響を受ける時期があるでしょう。
 気温の変動が大きい見込みです。

八月

太平洋高気圧に覆われて暑い時期がありますが長続きせず、
 低気圧と前線や上空の寒気の影響で天気がぐずぐずつき、低温の続く時期があるでしょう。

九月

低気圧と高気圧が交互に通り、
 天気は数日周期で変わるとは
 言えます。
 気温の高い日が多い見込みです。



第四回理事会の経過

開催日時 平成十年六月八日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、信用事業方法書の一部変更について
- 二、貸付金の最高限度額の決定について
- 三、貸付金利率の最高限度の決定について
- 四、平成十年度購買・店舗手数料の決定について
- 五、平成十年度販売手数料及び利用料金
の設定について
- 六、早期是正措置に基づく資産査定要領
の制定について
- 七、桜ヶ丘用地の取付道路及び給排水設
備の固定資産取得について
- 八、各種資金の借入申込について
- 九、生菌及び体細胞ベナルティ口座の一
本化について
- 十、平成九年度下期北海道酪農体質強化
対策費の用途について

十一、平成十年度生乳計画生産目標数量
の設定について

十二、農産販売課の固定資産取得につ
いて

十三、農産販売課車輻リースについて

十四、金融課車輻リースの更新について

十五、Aコープ新店舗建設に係る固定資
産（花壇撤去費用）の取得について

〈協議事項〉

一、中標津町原種農場運営検討会につ
いて

二、固定資産監査の日程について

〈報告事項〉

一、クミカン実績報告について

二、給油所の供給状況について

三、自主分類自己査定結果について

四、生乳生産状況について

五、地区酪対と生乳共販運営委員会の統
廃合について

六、酪農畜産政策課題の検討について

七、平成九年度良質生乳安定供給特別対
策事業の実績について

八、平成九年度酪農体質強化対策費の支
払いについて

九、平成九年度チーズ向需要調整対策事
業の実施結果について

十、平成十年度生乳受託販売方針の具体
的取り進めについて

十一、平成九年度生クリーム等生産拡大
促進事業の実績について

十二、乳製品工場及び牧舎の状況につ
いて

十三、生乳ダイオキシンの汚染報道の経過
と対応について

十四、平成九年度北海道生乳生産安定化
対策費の収支決算並びに残余金の返戻
について

十五、平成九年度乳牛販売状況について

十六、平成九年度肉牛センターの状況に
ついて

十七、(株)根室ミートセンターの屠畜取扱
実績について

十八、畜産基盤再編総合整備事業の実施
計画について

6月の組合日誌

- | | |
|-----|---|
| 1日 | 新店舗建設委員会 |
| 2日 | 開陽・俵橋地区共進会 |
| 3日 | 中標津町農協畑作対策協議 会設立総会 馬鈴しょ振興記全体会議 中標津ETA役員会 |
| 6日 | 生命共済審査 |
| 8日 | 第4回理事会 |
| 9日 | 中標津農業高校委託実習受 入式 |
| 12日 | 第29回総合共進会 |
| 15日 | 固定資産監査 |
| 18日 | 中標津農業高校委託実習終 了式 |
| 25日 | 青年部調査・広報委員会 |
| 26日 | 畑総事業受託者説明会 |
| 29日 | 新店舗建設委員会 |
| 30日 | 兵庫県立氷上高校勤労体験 実習受入式 |

グリーンネットピア 天気予報の活用

牧草収穫期にあたり、グリーンネットピア
天気情報を平成十年六月二十日から農協
FAX情報箱に入力致しています。

情報は、一日二回発表されます。

☆午後六時発表↓翌日十八時までの天気

気温・風・雨量を三時間単位で予想

☆午後六時発表↓翌日二十四時までの天

気・気温・風・雨量を三時間単位で

予想

二日〇七日先までの天気・気温・風

雨量を日単位で予想

また、天気図も提供されます。天気情
報は、あくまでも予想であり百割の確率
で当たるとは限りませんが、大切な粗飼
料を雨にあてる事なく収穫作業を円滑に
行なうためにも天気情報を活用下さい。
なお、予測ポイントは中標津と俵落の二
カ所です。

★予測期間 平成十年六月二十日〇九月

十九日

★天気情報の取り出し FAX情報箱

30# 中標津

31# 実況予想天気図

32# 台風情報

33# 俵落

※この期間以外は、ホクレン天気情報が
情報箱30#に入力されていますのでご
活用下さい。



アイスクリーム 100ml・500ml

原料のミルクは、牧場の朝の“一番搾り”。
添加物を一切使用しない、ナチュラルなコクと風味に仕上げました。
バニラ・こけもも・よもぎ・ふきのとう、4つの自然の恵みを召し上がれ。

口の中でひろがる味は、
まさに至福のひとつとき。